

授業科目	子どもの保健				単位	2		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE21606J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP5-2			
担当教員	田中 沙織							
授業概要	本授業では、子どもの保健の理念を理解し、家族と共に子どもの健やかな生活を支援する意義を学修する。子どもにかかわるときの基礎となる発育・発達を理解し、成長発達過程にある子どもの保健について学修する。さらに、子どもを取り巻く社会の現状を捉え、子どもの疾病、心身の健康状態と把握の方法について学修する。また、保育所をはじめとする各学校・施設における子どもの心身の健康増進のための環境構成や適切な援助法について基礎的な事項を学ぶ。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの保健の理念を理解することができる。</li> <li>2. 子どもの発育・発達について理解し健康増進のための知識を身に着ける。</li> <li>3. 子どもの健康や安全で健やかな生活について理解し考える力を養う。</li> <li>4. 子どもの健康問題や子どもを取り巻く社会の現状を捉え、子どもの保健・母子保健の課題について理解することができる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	20	0	20	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	40	0		0			40	
知識・理解 (DP1-2)	20		0				20	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			0		0		0	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)	0		20	0	20		40	
技能・表現 (DP5-3)			0		0			
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの保健の理念を理解し説明することができる</li> <li>2. 子どもの発育・発達について理解し健康増進のための知識を自ら調べ、実践レベルの技能を習得する</li> <li>3. 子どもの健康や安全で健やかな生活について理解し課題を解決するための具体的方策を考えることができる</li> <li>4. 子どもの健康問題や子どもを取り巻く社会の現状を捉え、課題について多角的視点から地域に貢献するための支援方法を考えることができる</li> </ol>				<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの保健の理念知っている</li> <li>2. 子どもの発育・発達および健康増進に関する知識を身に着けている</li> <li>3. 子どもの健康や安全で健やかな生活について考えることができる</li> <li>4. 子どもの健康問題や子どもを取り巻く社会の課題について考え課題を想定することができる</li> </ol>				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	講義ガイダンス (田中沙織) 保健活動の意義と目的を学び、子どもの発達と年齢区分を理解する。	講義	予習:身の回りの出来事や新聞・教科書等で授業内容に関する情報収集を行う。 復習:授業内容の重要箇所をまとめ小テストに備えて知識・技能を定着しておく。	180
2	「健康」の概念理解(田中沙織) 「健康」に関する概念を開設し、様々な健康を判断する基準について紹介する。	講義	予習:自分の健康について振り返り、課題を見つける 復習:我が国の乳児・幼児死亡率について授業内容を自分の言葉でまとめる	180
3	我が国の子どもの健康課題と対策(田中沙織) 子どもの健康に関する現状について概観し、対策について考える。	講義	予習:該当部分の教科書を読んで疑問点をまとめておく 復習:疑問点について授業内容をもとに自分の言葉でまとめる	180
4	子どもの発達と保健(1)(田中沙織) 生理機能の発達について解説する。	講義	予習:身の回りの出来事や新聞・教科書等で授業内容に関する情報収集を行う。 復習:授業内容の重要箇所をまとめ小テストに備えて知識・技能を定着しておく。	180
5	子どもの発達と保健(2)(田中沙織) 身体機能の発達について解説する。	講義	予習:身の回りの出来事や新聞・教科書等で授業内容に関する情報収集を行う。 復習:授業内容の重要箇所をまとめ小テストに備えて知識・技能を定着しておく。	180
6	子どもの発達と保健(3)(田中沙織) 精神機能の発達について解説する。	講義	予習:身の回りの出来事や新聞・教科書等で授業内容に関する情報収集を行う。 復習:授業内容の重要箇所をまとめ小テストに備えて知識・技能を定着しておく。	180
7	子どもの発達と実際(田中沙織) 発達および健康状態の観察について DVD 視聴を通して解説する。	講義	予習:身の回りの出来事や新聞・教科書等で授業内容に関する情報収集を行う。 復習:授業内容の重要箇所をまとめ小テストに備えて知識・技能を定着しておく。	180
8	子どもの疾病(1)(田中沙織) 子どもの疾病の特徴および予防接種について解説する。	講義	予習:身の回りの出来事や新聞・教科書等で授業内容に関する情報収集を行う。 復習:授業内容の重要箇所をまとめ小テストに備えて知識・技能を定着しておく。	180
9	子どもの疾病(2)(田中沙織) 子どもの感染症の種類と特徴についてについて解説する。	講義	予習:身の回りの出来事や新聞・教科書等で授業内容に関する情報収集を行う。 復習:授業内容の重要箇所をまとめ小テストに備えて知識・技能を定着しておく。	180

10	子どもの疾病(3)(田中沙織) 感染症以外の疾病や疾病の予防と適切な対応について解説する。	講義	予習:身の回りの出来事や新聞・教科書等で授業内容に関する情報収集を行う。 復習:授業内容の重要箇所をまとめ小テストに備えて知識・技能を定着しておく。	180
11	子どもの疾病(4)(田中沙織) 子どもの心身の健康および心身症について解説する。	講義	予習:身の回りの出来事や新聞・教科書等で授業内容に関する情報収集を行う。 復習:授業内容の重要箇所をまとめ小テストに備えて知識・技能を定着しておく。	180
12	職員・家庭・地域との連携(田中沙織) 地域の保健活動と虐待防止および母子行政について解説する。	講義	予習:身の回りの出来事や新聞・教科書等で授業内容に関する情報収集を行う。 復習:授業内容の重要箇所をまとめ小テストに備えて知識・技能を定着しておく。	180
13	子どもの安全管理(田中沙織) 子どもの安全に関する環境の整備・応急処置について解説する。	講義	予習:身の回りの出来事や新聞・教科書等で授業内容に関する情報収集を行う。 復習:授業内容の重要箇所をまとめ小テストに備えて知識・技能を定着しておく。	180
14	母子保健の現状と課題(田中沙織) 子育てをめぐる日本の母親の現状について解説する。	講義	予習:身の回りの出来事や新聞・教科書等で授業内容に関する情報収集を行う。 復習:授業内容の重要箇所をまとめ小テストに備えて知識・技能を定着しておく。	180
15	これからの子どもの保健(田中沙織) 授業内容を振り返り、保育の現場で子どもの健康を守り増進していくための課題について議論する。 授業のまとめ・試験	講義 テスト	予習:予習:これまでの講義内容を復習し、試験に備える。 復習:授業内容を振り返り知識・技能を定着しておく。	180
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				

28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	保育所保育指針や解説を理解し、保育士として子どもの心身の健康を維持増進するために必要とされている知識、技術技能、能力は何かを理解する。			
テキスト	子どもの保健 第7版 追補, 巷野 悟郎, 診断と治療社			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業内容に応じて資料を配布する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	本授業は子どもの心身の健康増進を図る保健活動の基本的知識・技能・資質・能力の習得を目指しています。講義以外でも、日ごろの生活の中で子どもを取り巻く社会環境に関心を向けるよう心がけてください。また、毎回の授業内容を確実に積み上げられるよう、予習復習を必ず行ってください。			
達成度評価に関するコメント／課題に対するフィードバックの方法	筆記試験 60%、レポート 20%、各授業の提出物や課題 20%として配点する。 筆記試験については、期末テストを行い 60%換算して算出する。 レポートについては、設問の要求に応じた回答と独自性のある考察が含まれていれば満点とし、適宜減点を行う。 授業の提出物や課題については、求められているスペースに 3/4 回答し授業内容を反映した考察が行われていることを満点の基準とする。			